



# 川越市公共施設マネジメント白書



川越市マスコットキャラクターときも

平成 2 5 年 3 月 川越市



「公共施設マネジメント」とは、公共施設を対象として、経営的な視点から設備投資や管理運営に要する費用の最小化、施設効用の最大化を図るため、総合的・長期的視点から企画・管理・活用する仕組みなんだ。この白書は、マネジメントを進めるため今ある施設を調べたものだよ。

この白書では、市役所本庁舎などの建物を「公共施設」、道路・橋・上下水道などを「インフラ施設」と呼んでいます。

## はじめに

川越市公共施設マネジメント白書の目的と役割について整理しました。

### 目的と役割

- ・ 公共施設の全体像を統一的に整理
- ・ 利用状況やコスト情報などを可視化して公開
- ・ 今後の公共施設のあり方を考えるための基礎資料

# 第1章 公共施設を取り巻く課題

公共施設を取り巻く課題が3つあります。

## 課題1 公共施設の老朽化と更新需要の増大と集中

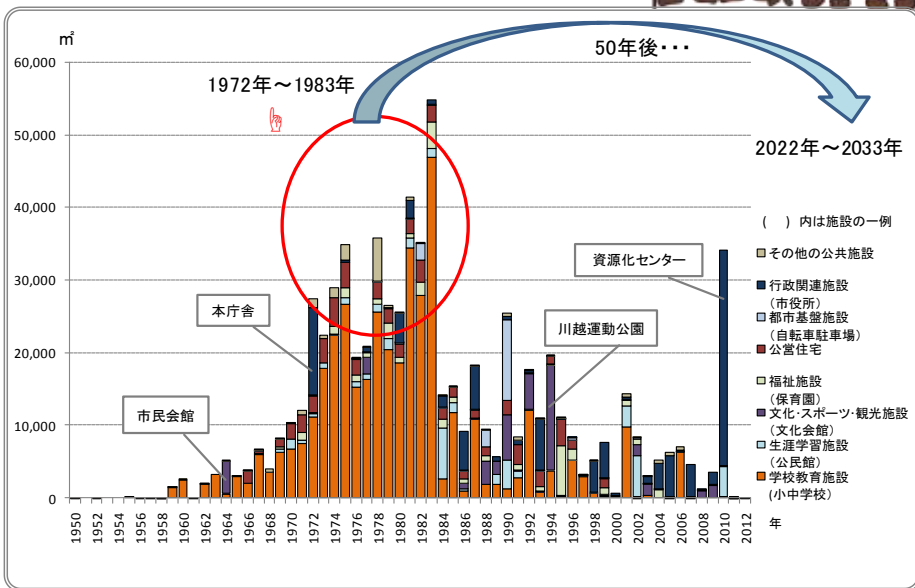
多くの公共施設が建築後30~40年経過し、建替えが必要な施設の増大と集中が見込まれます。

この棒グラフは、その年に建てられた公共施設の延床面積を表しているよ。

Q 1983年が一番高くなっているけど、どうしてかな？

A ほとんどが、学校教育施設で、10校が整備されているんだね。

建築年ごとの公共施設の延床面積



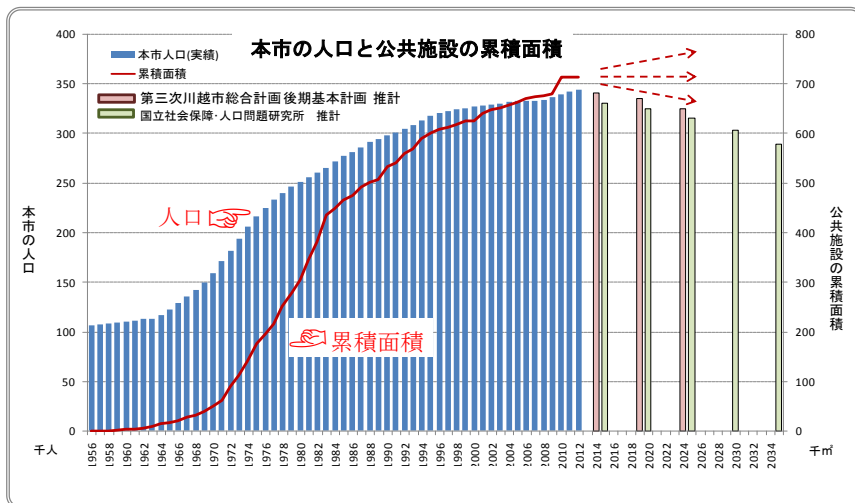
多くの公共施設を1972年~1983年に整備しています。もう、30~40年経過しているから、そろそろ建替えの時期を一斉に迎えることが見込まれているんだね。

※複数の棟で構成されている公共施設は、施設内で最大面積の棟の建築年としています。



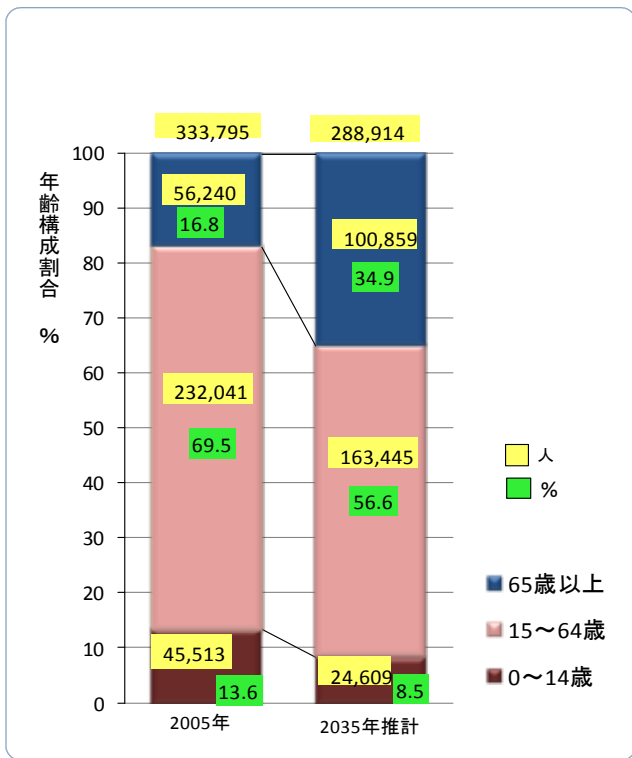
## 課題2 少子高齢化社会の到来とニーズの変化

人口増減や人口構成の変化に応じた市民ニーズに適切に対応する必要があります。



人口の増加に合わせて、多くの公共施設を整備しました。



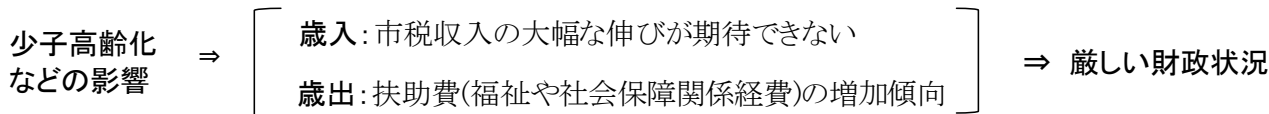


国立社会保障・人口問題研究所数値より作成

2005年と2035年の人口を比較したよ。  
 30年間で約45,000人も減少します。  
 人口構成では、  
 こどもは、約21,000人減少  
 お年寄りは、約45,000人増加します。  
 少子高齢化社会の到来で、「市民のニーズの変化」も予想されるから、これからの公共施設は、人口の増減と人口構成の変化に応じた「市民ニーズに適切に対応」することを考えなければならぬ。

### 課題3 公共施設にかけられる財源の限界

整備更新や維持管理に支出できる財源には限界があることを前提に、今後の公共施設のあり方を検討する必要があります。

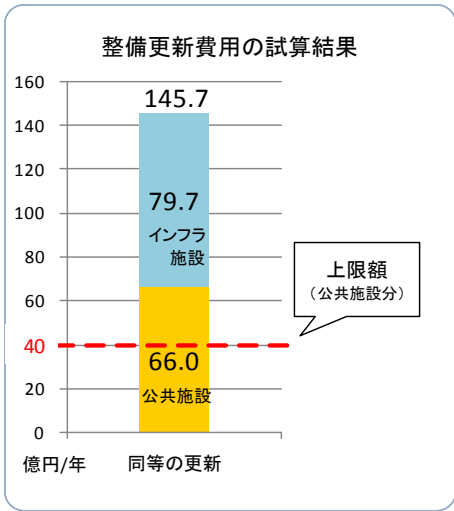


将来の財政見通しでは、公共施設の整備更新に支出できるのは 30~40 億円程度が上限と考えられます。  
 整備更新や維持管理に支出できる財源には限界があることを前提に、今後の公共施設のあり方を検討しなければいけません。



## 第2章 整備更新シミュレーション

将来、公共施設の整備更新費用がいくら必要か、2049年(40年間)まで試算しました。



・既存施設と同等の更新を行った場合  
 公共施設 66.0 億円/年、インフラ施設込み 145.7 億円/年

既存施設を同規模で更新した場合約 66 億円かかります！  
 公共施設の整備更新にかけられる財源は、30~40 億円程度が上限だから、このままじゃ大変だ！

整備更新費用の縮減に向けて、様々な工夫をしなければいけません！



## 第3章 公共施設マネジメントの基本方針

公共施設マネジメントの理念を揚げ、理念を実現するための基本的な考え方をまとめました。

### 理 念

## 市民とともにある公共施設の実現

### 基本的な考え方

#### ○市民ニーズへの適切な対応

- ⇒ 用途転用、複合化による既存公共施設の有効活用
- ⇒ 公平性に基づく受益者負担の適正化

#### ○人口減少を見据えた整備更新

- ⇒ 人口動態などに基づいた全体面積のコントロール
- ⇒ 既存公共施設の長期利用と予防保全・機能改善
- ⇒ 民間への整備費補助と不要施設の売却

#### ○協働の理念に基づく維持管理・運営

- ⇒ 市民、民間企業、社会福祉法人、NPO法人などの民間活力の導入
- ⇒ 公共施設を核としたコミュニティの醸成

## 第4章 川越市の現状

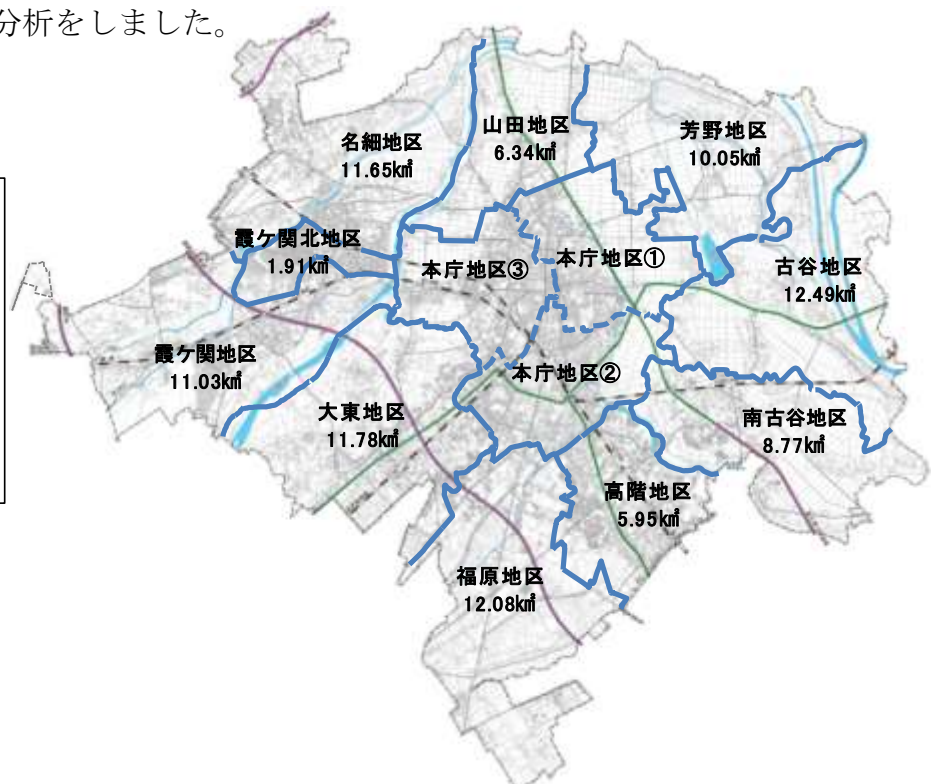
都市構造や人口動態の現状分析をしました。

### ・地域区分の考え方

市内を13地区に区分して分析しています。  
本庁地区は面積が大きく、3地区に分けました。

#### 本庁地区の区分

- 本庁地区① 第1、4、5支会
- 本庁地区② 第6、7、8、9、11支会
- 本庁地区③ 第2、3、10支会

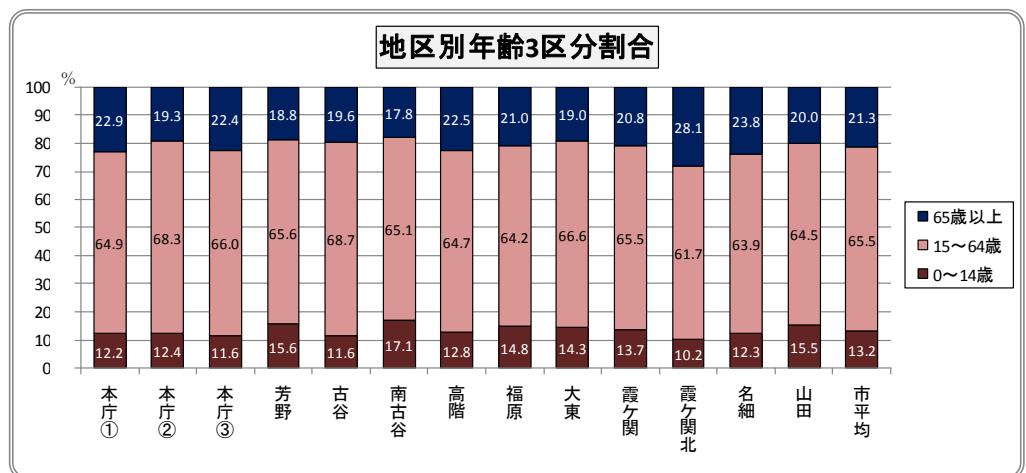
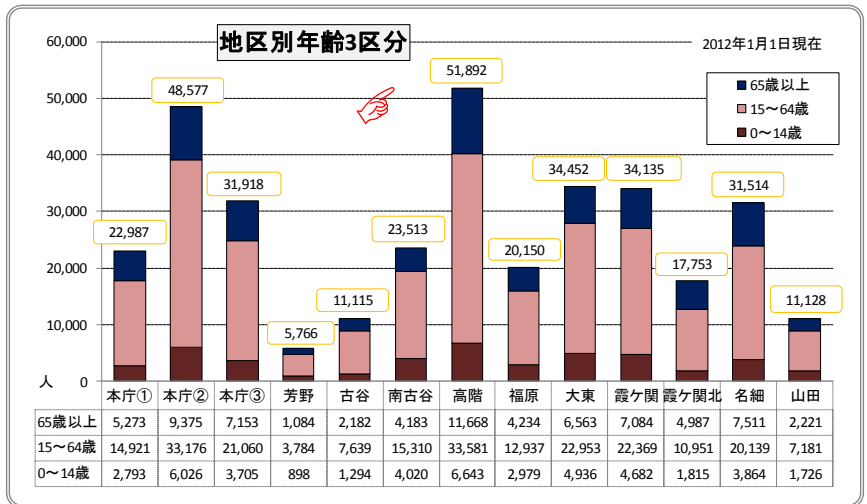


・ 地区別の人口構成

2012年1月1日時点の人口は、344,900人です。  
13の地区ごとで、人口が一番多い地区は高階地区  
でした。

更に年齢から以下のとおり3区分に分けてみると、  
0～14歳、15～64歳、65歳以上の3区分もそれ  
ぞれ高階地区が一番多い地区でした。

次に実人数ではなく、割合から分析しました。  
3区分の割合でそれぞれ人口が一番多い地区は、  
0～14歳 :南古谷地区  
15～64歳 :古谷地区  
65歳以上 :霞ヶ関北地区  
このような結果でした。

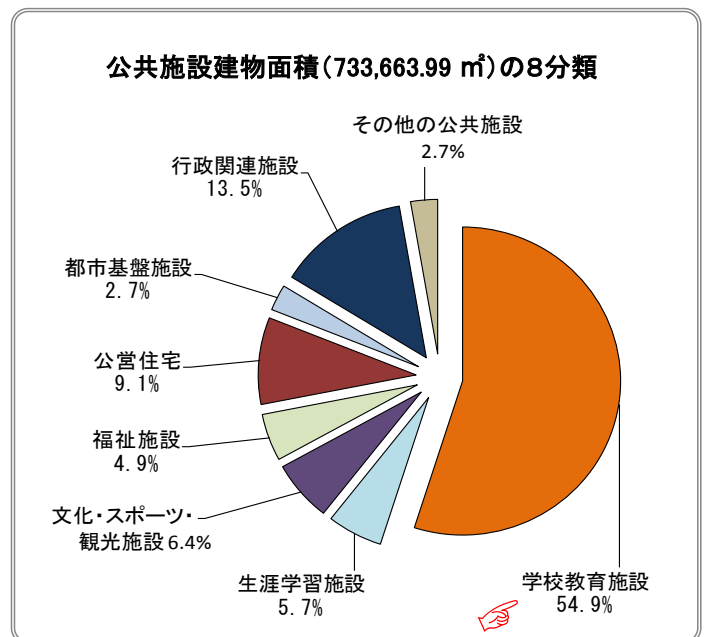


第5章 川越市公共施設の全体概要

川越市公共施設の全体概要から、他市  
(中核市/県内類似市) 比較による特徴把  
握をしました。また、用途や役割による  
公共施設の分類をしました。

・ 用途別分類の特徴

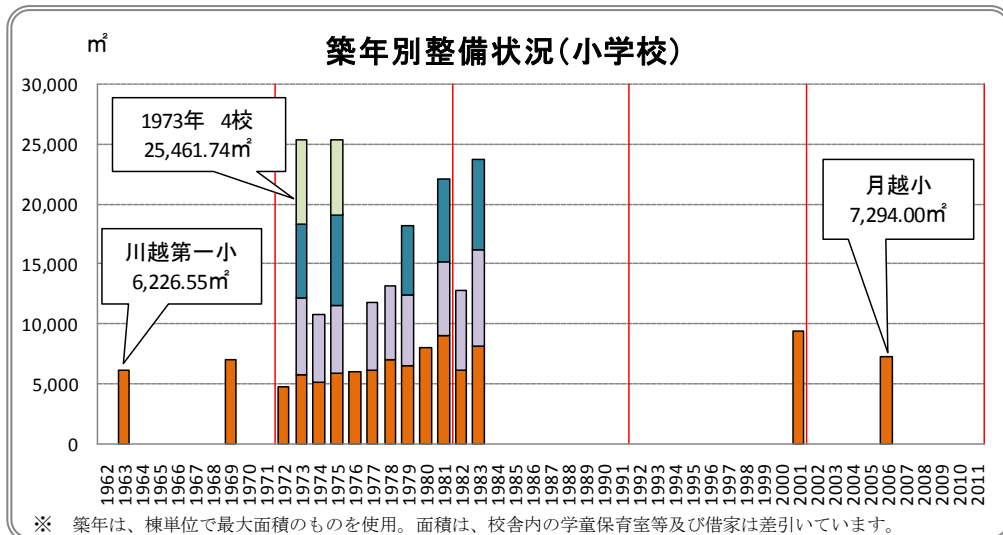
川越市が所有、または管理している  
公共施設の数、242 施設、面積は  
733,663.99 m<sup>2</sup>で、この内、用途別  
に見ると学校教育施設が約 55%を占めて  
いるよ。(2012年3月31日時点)



## 第6章 用途別公共施設の実態と分析

用途ごとに施設の物理的状況・コスト分析を行いました。

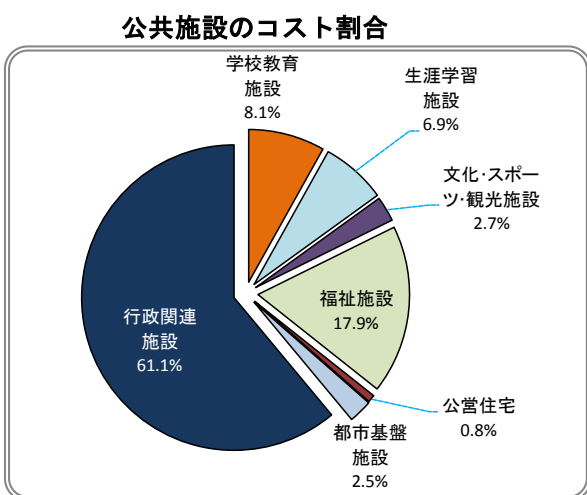
### ・施設の物理的状況



1973年～1983年に多くの小学校を整備して、1973年と1975年は、それぞれ4校の整備をしているよ。



### ・公共施設全体のコスト分析



維持管理費・運営費	29,107,783,873円
うち工事請負費等	2,339,322,420円
工事請負費等を除く維持管理・運営費	26,768,461,453円
学校教育施設	2,171,934,112円
生涯学習施設	1,857,267,187円
文化・スポーツ・観光施設	711,220,521円
福祉施設	4,803,083,203円
公営住宅	212,378,061円
都市基盤施設	667,629,069円
行政関連施設	16,344,949,300円

※ 8分類のうち「その他の公共施設」を除く

(8分類は、前頁下段の「公共施設建物面積の8分類」を参照)

公共施設にかかるコストは、2011年度の決算額を基にしています。

一番コストが高いのは、行政関連施設で約61%、次に福祉施設で約18%だよ。

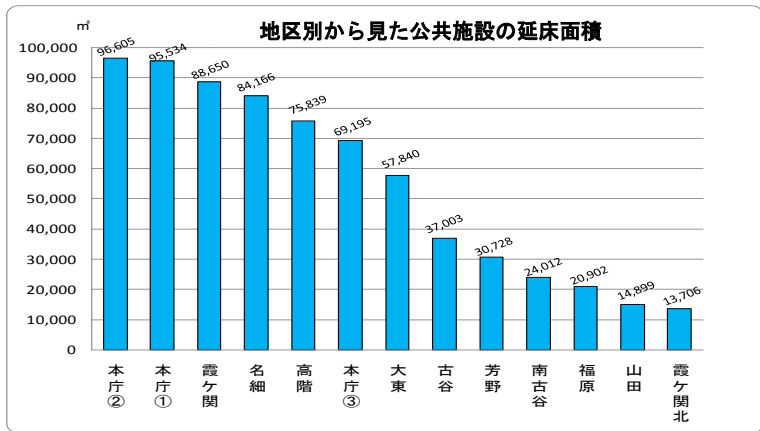


## 第7章 地区別の公共施設の分析

地区1人あたりの公共施設面積などを用いて、各地区を分析しました。

### ・地区別の公共施設面積

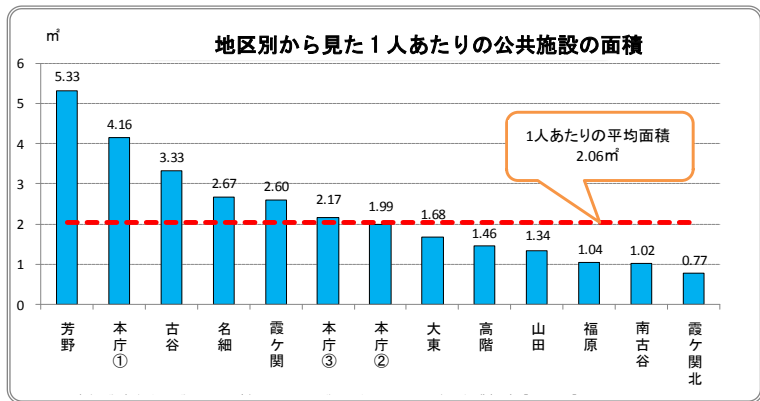
**公共施設の延床面積  
(709,078.73 m<sup>2</sup>)を地区別  
で比較しました。**  
一番大きいのは、**本庁②**  
地区です。



※ 8分類のうち「都市基盤施設」の公園・防災施設及び「その他の公共施設」を除く

### ・地区1人あたりの面積

**709,078.73 m<sup>2</sup>の延床面積に対して、  
地区内の人口で除した1人あたりの  
面積です。市平均面積は、2.06 m<sup>2</sup>だよ。**  
一番大きいのは、**芳野地区**です。



## 第8章 本白書のまとめ

本白書の到達点と今後の取組をまとめました。

### 本白書の到達点

#### 第I部 公共施設マネジメント方針

##### 第1章 公共施設を取り巻く課題

課題を以下の三点に整理

- ①公共施設の老朽化と更新需要の増大と集中
- ②少子高齢化社会の到来とニーズの変化
- ③公共施設にかけられる財源の限界

##### 第2章 整備更新シミュレーション

総務省ソフトを利用して整備更新費用を試算  
長寿命化、面積増減の場合も合わせて試算

##### 第3章 公共施設マネジメントの基本方針

公共施設マネジメントの理念、基本的な考え方を整理

理念:市民とともにある公共施設の実現

基本的な考え方

- ①市民ニーズへの適切対応
- ②人口減少を見据えた整備更新
- ③協働の理念に基づく維持管理・運営

#### 第II部 川越市公共施設の現状分析

##### 第4章 川越市の現状

川越市の都市構造や人口動態の現状把握

##### 第5章 川越市公共施設の全体概要

川越市の公共施設の特徴を把握

##### 第6章 用途別公共施設の実態と分析

個別の公共施設の実態を以下の項目で整理

- ①施設の概要
- ②利用の実態
- ③施設の物理的状況
- ④コスト分析
- ⑤まとめ

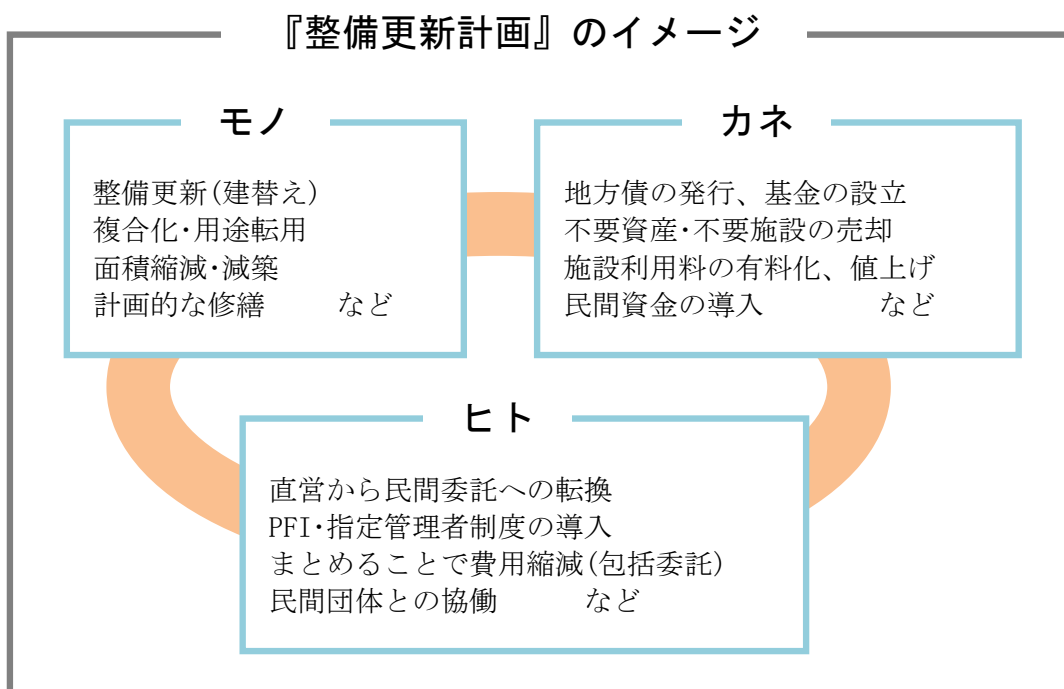
##### 第7章 地区別の公共施設の分析

地区1人あたりの公共施設面積、地区別人口動態などにより、  
地区ごとの特徴を分析

##### 第8章 本白書のまとめ

## 今後の取組

今後は、公共施設「モノ」を物理的に改善する手法の検討とともに、公共サービスの提供に不可欠な「ヒト」、これらを支える財源「カネ」に関して情報の共有を図りながら、『整備更新計画』（既存公共施設のあり方を含めた改善計画）の検討を進めていきます。



『整備更新計画』を策定するにあたり、今後の公共施設のあり方は、みなさんの意見を伺いながら決めていくことが大切です。

## 川越市公共施設マネジメント白書の閲覧等について

- 川越市ホームページ（閲覧・ダウンロード）
- 各図書館（閲覧・貸出し）
- 政策企画課・情報公開窓口・各公民館・各市民センター・南連絡所（閲覧）

※このほか、ご希望の方には政策企画課で販売（1部1,000円）しています。

### <問い合わせ>

川越市政策財政部政策企画課  
〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1  
電話049-224-8811（大代表）  
E-mail [seisakukikaku@city.kawagoe.saitama.jp](mailto:seisakukikaku@city.kawagoe.saitama.jp)  
<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

概要版：平成25年5月作成

